

2025年への対応方針

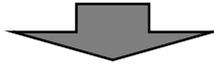
1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人社団三思会 東邦病院
所在地	群馬県みどり市笠懸町阿左美1155番地
沿革	別紙1参照

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	443 床	床	221 床	58 床	164 床	床
平均在院日数	日	13.8 日	67.3 日	142.5 日		
病床稼働率	%	73.5 %	14.2 %	88.7 %		



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	443 床	床	221 床	58 床	164 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し
今後も急性期から慢性期まで、患者様の症状に合わせた最適な医療が提供できるケアミックス病院として地域医療に貢献していく。
また、当医療圏は特に高齢化率が高いので高齢者医療や救急医療の更なる充実を図っていく。

3. 医療機能について

診療科目	25 科 (別紙1参照)
------	----------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生総合病院	さいとう内科クリニック	みどり病院
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	群馬大学付属病院	さいとう内科クリニック

5. 当院の特徴について

特徴的な 人工透析	人工透析ベッドを128床有しており、地域最大規模の透析センターとして透析治療を行っている。 また規模だけではなく、肝炎の診断・保存期腎不全治療・透析導入・維持透析と透析疾患のすべてのステージで適切な診療が可能である。
特徴的な 循環器内科	地域の高齢化に伴い循環器疾患の患者が急増している中、それに対応すべく循環器内科の医師を増員し、体制を整えている

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム（急性期・回復期・慢性期）を担う地域の基幹病院として、地域の病院や医師、診療所や介護施設との連携を密に行っている。 ・2次救急病院として救急車を積極的に受け入れている。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は、HCU（ハイケアユニット）病床を整備し、救急医療の更なる充実を図る。 ・手狭になっている外来棟を中心とした旧病棟を建て替え、患者様の利便性を図る。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	「東邦病院があるから安心」と地域の皆様に思ってもらえる病院を目指して、職員一同、患者様一人ひとりと向き合い今後も精進して参ります。

標榜診療科	内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科(内視鏡) 肝臓内科 糖尿病内分泌内科 腎臓内科 人工透析内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 血管外科 整形外科 脳神経外科 リウマチ科 皮膚科 眼科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 歯科口腔外科 神経内科 緩和ケア内科 心臓血管外科
-------	--

沿革

1976年	昭和51年3月	医療法人社団三思会を開設
1977年	昭和52年2月	医療法人社団三思会 東邦病院を開院 (病床数) 80床 (診療科) 内科、外科、整形外科、皮膚科、放射線科、神経科
	5月	救急指定病院の告示認定
	11月 12月	更正医療機関の指定 透析施設を開設 (10台完備)
1978年	昭和53年6月	一般病棟を118床へ増床 病院内保育施設「阿左美園」開設
1979年	昭和54年1月	透析施設を増設 (49台完備)
	7月	一般病棟7階建を新築
1980年	昭和55年6月	脳神経外科を増科
	7月	一般病棟を229床へ増床
1981年	昭和56年8月	理学診療科を増科
	9月	基準看護特二類承認
1982年	昭和57年7月	一般病棟を263床へ増床
	9月	一般病棟を297床へ増床
1983年	昭和58年8月	一般病棟を311床へ増床
	11月	歯科を増科
1984年	昭和59年9月	呼吸器科・胃腸科・循環器科を増科

1985年	昭和60年2月 3月	一般病棟を405床へ増床 一般病棟を375床へ減床
1987年	昭和62年5月	透析施設を増設（59台完備）
1988年	昭和63年3月	一般病棟を387床へ増床
1989年	平成元年1月 5月	外来・管理棟新築 人間ドック7床を開設
1992年	平成4年7月	解剖室・標本室を新築
1993年	平成5年4月	院外処方箋を開始
1995年	平成7年2月 4月	重症者特別療養環境加算13床を認可 基準看護から新看護体系に変更（3：1B）
1996年	平成8年7月 9月	北軽井沢に保養施設「三思会あさま山の家」開設 診療科の改正及び増科等（15診療科） 内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、外科 整形外科、皮膚科、アレルギー科、放射線科 神経科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科 歯科、歯科口腔外科
	11月	病棟改修（一般病棟322床・療養病棟44床） 許可病床数366床
1997年	平成9年12月	無菌製剤処理の許可
2000年	平成12年1月 7月	指定介護療養型医療施設開設（100床）許可病床数466床 婦人科を増科
2001年	平成13年3月 8月	眼科を増科 形成外科を増科
2002年	平成14年5月	日本医療機能評価機構（複合B）の認定取得
2003年	平成15年4月	回復期病棟新築(178床) （一般病棟180床・医療療養型病棟178床・ 介護療養型病棟100床・ドック8床）
2004年	平成16年6月	開放型病院の承認

年	9月	PACS稼働
2005年	平成17年4月 9月 12月	神経科・アレルギー科・形成外科を減科 外来・管理棟改修 一般病棟入院基本料 7:1取得
2006年	平成18年2月 4月	医療情報システム稼働 婦人科・歯科を減科
2007年	平成19年5月	日本医療機能評価機構（一般、療養200床以上、500床未満）の 認定取得 レセプトオンライン開始
2008年	平成20年11月	診療科の改正及び増科（19診療科） 内科、循環器内科、腎臓内科、消化器内科（内視鏡） 糖尿病内分泌内科、肝臓内科、呼吸器内科、透析内科 外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科 脳神経外科、リウマチ科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科 放射線科、歯科口腔外科
2009年	平成21年9月	麻酔科を増科
2011年	平成23年3月	病院内保育施設「阿左美園」新築
2012年	平成24年3月	呼吸器外科・血管外科を増科
2013年	平成25年4月 5月 11月	敷地内に「北関東肥満代謝研究所」完成 新棟を増築 神経内科を増科
2014年	平成26年3月 4月 8月	北病棟2階を医療型療養病棟へ転換 北病棟1階を緩和ケア病棟(21床)へ転換 心臓血管外科を増科 入退院センター開設
2016年	平成28年8月	東病棟3階を地域包括ケア病棟へ転換
2018年	平成30年4月	新理事長就任
2019年	令和元年9月	北病棟2階を医療型療養病床1へ転換

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	医療法人社団東郷会 恵愛堂病院
所在地	群馬県みどり市大間々町大間々
沿革	昭和59年に44床として開院 昭和60年に65床増床し109床となり、救急指定・輪番制二次病院の指定を受ける 昭和63年～平成17年の間に161床を増床し一般病床215床、療養病床55床の計270床となる 現在は急性期112床、回復期104床、慢性期54床の計270床のケアミックス病院

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	270 床	0 床	112 床	104 床	54 床	0 床
平均在院日数(※1)	0.0 日	14.6 日	45.6 日	147.5 日		
病床稼働率(※2)	0.0 %	84.1 %	86.5 %	89.1 %		

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	270 床	0 床	112 床	104 床	54 床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も急性期医療を中心とした医療の提供をしていくとともに、県の地域医療構想に沿った医療機能を展開する。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	17 科 (消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内科、整形外科、脳神経外科、リハビリ科、リウマチ科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、放射線科、小児科、肝臓内科)
------	--

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション				



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	えだくに整形外科		
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	心臓血管センター	前橋赤十字病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 外科系病院	外科を中心にがん疾病から慢性的な疾病まで幅広く総合的な診療を提供している。 病理診断医が在籍しており、外科の手術は迅速に正確な診断と治療が行なえる。
特徴的な 救急体制	救急を断らない姿勢を開業当初から現在まで行っており、脳卒中・心血管以外の患者は、緊急的な対応を行っている。 救急車の受け入れ率は80%以上を維持、同輪番病院の中では一番高い割合を維持している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・開院当初から、急性期の疾病を中心とし、クリニックのような小回りが利きながら、大病院並みの医療機器・医療レベルの高さを目指している。 ・救急病院として、24時間365日、救急の診療及び手術に対応できる体制を整えている。 ・当院で対応困難な疾患については、（心血管は県立心臓血管センター・脳卒中は桐生厚生総合病院）連携医療機関として強固な信頼を築いている。 ・一次医療患者については、地域のクリニック等と連携を図り、取り組んでいる。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も開院当初からの考えを念頭に、急性期の疾病を診る病院、そして、クリニックのような小回りが利きながら、大病院並みの医療機器・医療レベルの高さを目指す。 ・地域の人口動態に合わせ、急性期から慢性期医療に対応出来るように柔軟な病床機能を展開できるように体制を整備する。 ・療養病棟は、介護医療院も視野に入れ、地域に沿った医療展開を考え、患者様に安心と安全な医療を提供出来る病院を更に目指す。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	患者様のニーズに沿った医療を提供致します。 今後も、安全で安心な医療を提供し、医療と健康をサポートしていきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人社団全仁会 高木病院
所在地	群馬県桐生市相生町5丁目754
沿革	<p>沿革・出来事</p> <p>大正 8年 桐生市本町2丁目にて個人開業</p> <p>昭和29年10月 医療法人高木会高木病院開設 許可ベッド数50床</p> <p>昭和55年 6月 桐生市相生町5丁目754番地に移転完了、開設許可</p> <p>昭和56年 6月 許可ベッド数150床、診療科目；内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、放射線科、理学療法科として開設</p> <p>昭和62年11月 眼科、院内歯科を標榜、許可ベッド数176床に増床</p> <p>平成 5年11月 基準看護Ⅱ群取得</p> <p>平成 6年10月 一般病棟；新看護3：1看護補助10：1取得 許可ベッド数143床、療養型病床群；2群基本看護（Ⅱ） 許可ベッド数24床</p> <p>平成 7年10月 新看護3：1（B）看護補助6：1を取得</p> <p>平成 8年 2月 病院群輪番制二次救急医療機関に指定</p> <p>平成 8年 3月 スプリンクラー施設整備事業により、スプリンクラー設置</p> <p>平成 8年 7月 療養型病床群廃止、一般病棟；新看護3：1（B） 看護補助6：1、許可ベッド数167床に変更</p> <p>平成 9年 9月 院内歯科を廃止</p> <p>平成10年 2月 病院群輪番制病院施設整備補助事業により、消化器センターを 開設</p> <p>平成10年 7月 産婦人科を廃止</p> <p>平成11年10月 小児科を廃止</p> <p>平成12年 1月 病院群輪番制病院設備整備補助事業により、超音波診断装置、 低床油圧昇降撮影台、マイクロファイナダー撮影台及び患者監視装 置を設置</p> <p>平成13年 2月 運営法人変更に伴い法人名変更、医療法人社団全仁会高木病院 （2月28日）</p> <p>平成13年 3月 一般病棟入院基本料5、看護補助10：1（119床）、 療養病棟入院基本料2（48床）、療養病棟療養環境加算1取得</p> <p>平成13年12月 MRI（磁気共鳴画像装置）導入</p> <p>平成14年 7月 一般病棟入院基本料Ⅱ群 入院基本料4取得</p> <p>平成15年 4月 清掃業務委託 東洋ポリーズ株式会社</p> <p>平成15年10月 臨床検査業務委託 Medca Japan</p> <p>平成16年 2月 一般病棟入院基本料Ⅱ群 入院基本料3取得</p> <p>平成16年 7月 給食業務委託 株式会社サポートアンドサービス</p> <p>平成16年10月 一般病棟入院基本料Ⅰ群 入院基本料2 看護補助加算10：1を取得（119床） 特殊疾患療養病棟入院料を取得（48床）</p> <p>平成17年 1月 睡眠センター開設</p> <p>平成18年 8月 機能評価認定病院となる。一般病棟入院基本料7対1</p> <p>平成20年 1月 歯科口腔外科開設</p> <p>平成21年 1月 婦人科開設</p> <p>平成22年 2月 婦人科廃止</p> <p>平成23年10月 給食業務委託変更 日本給食サービス株式会社</p> <p>平成26年 7月 地域包括ケア病棟2取得</p> <p>平成27年 4月 歯科口腔外科廃止</p> <p>令和 2年 2月 地域一般入院基本料（地域一般入院料3）取得</p>

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	167 床	床	床	59 床	48 床	60 床
	平均在院日数(※1)	日	日	46.6 日	448.9 日	
	病床稼働率(※2)	%	%	45.1 %	93.5 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	167 床	床	床	119 床	48 床	床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	一般病棟では急性期治療を終え、在宅復帰等に向けた回復期の治療を行い、現在休棟している病床は、回復期として運用を行う予定です。慢性期病棟では、自宅に対応できない疾患で、長期療養が必要とする患者さんの対応をしていきます。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	7 科 (内科、外科、循環器科、消化器科、放射線科、リハビリテーション科)
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能 リハビリテーション、人間ドック等健康診断					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能 リハビリテーション、人間ドック等健康診断					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生病院	太田記念病院	恵愛堂病院
主な紹介先医療機関	桐生厚生病院	恵愛堂病院	東邦病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 地域密着医療	当院が目指すものは、地域に密着した医療です。地域連携にも積極的に取り組み、特に近隣施設とは連携の強化を図りながら、受け入れを積極的に行います。地域での役割を明確にした上で、施設では対応できない事を把握し、当院がすべき役割や求められていることを認識し、それらに対し積極的に取り組んでいます。
特徴的な 院内連携	院内では各科が連携し、病状に応じたより良い医療を提供することを目的に、入院から退院までの経過やリハビリテーションなどの治療内容の情報を常に共有し、患者様とご家族に安心していただける環境づくりを目指しています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 急性期治療後のケア、継続性のある診療を行い患者様の幅広いニーズに対応できるようにしています。 当院では、内科、外科など複数の診療科医師が垣根なく連携し協力することにより、様々な疾患をお持ちの患者様に対し、トータル的な診療を行っています。 睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来など、身近な病気から、一般内科、一般外科を中心として診療を行っています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 地域で求められる医療、より良い医療を目指していく。 地域に必要とされる、病院であるために今まで以上に地域連携に力を入れていく。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>基本理念、基本方針を基に「患者様に信頼される医療と安心していただける看護・介護を提供させていただく」という気持ちで、患者様の治療とケアに取り組んでいます。</p> <p>【基本理念】「より良い医療サービスを提供し、地域社会に奉仕する」を理念に地域医療に貢献しています。</p> <p>【基本方針】1.患者様に信頼される医療を提供します。2.患者様に安全で安心できる看護と介護を提供します。3.地域に密着した医療と福祉サービスを提供します。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 山育会 日新病院
所在地	桐生市菱町3丁目2069-1
沿革	平成13年 : 療養病床51床にて開院 平成15年 : 一般病床39床増床、計90床となる 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	90 床	床	床	39 床	51 床	床
	平均在院日数	日	日	日	87.7 日	
	病床稼働率	%	%	%	99.3 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	90 床	床	床	39 床	51 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も長期にわたり療養が必要とされる患者を受け入れるていくとともに、急性期を脱した患者に対しても在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供していきたい。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	7 科 (内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳・血管内科、リハビリテーション科、放射線科)
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	急性期を脱した慢性期疾患等に対応した診療及びリハビリテーション、人間ドック等健康診断				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	急性期を脱した慢性期疾患等に対応した診療及びリハビリテーション、人間ドック等健康診断				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生総合病院	東邦病院	たかのす診療所
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	足利赤十字病院	東邦病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 一般病棟と 療養病棟	一般病棟は、高齢の患者さんの割合が高く、病状に合せた治療やリハビリテーションの提供を行い、在宅復帰に向けて医師を中心とした多職種が連携して支援を行っています。療養病棟は、一般病棟での治療が落ち着いた後も自宅や施設での療養が困難な患者さんや、病状が不安定で入院が長期に亘る患者さんを対象としており、看護師と介護職員のチームワークで穏やかな療養生活を送れるよう努めています。
特徴的な 人間ドック等 各種健康診断	人間ドックや各種健康診断の他、脳ドック・乳がんドックも充実しています。脳などの断層撮影に用いる1.5テスラのMRIが稼働しているほか、マンモグラフィは必要な乳房圧迫において痛みを軽減する減圧機能の搭載に加え、角度を変えながら断層的に撮影、解析した画像から3D的な情報を得ることができるトモシンセシス撮影も可能で、圧迫の回数を増やすことなくわずかな時間で撮影が可能となる最新装置を導入しています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	急性期を脱して比較的病状が安定した回復・慢性期の患者さんを受け入れており、在宅への復帰や施設等への入所がスムーズに対応出来るよう治療やリハビリを行い、療養や介護についても支援している。
当院の未来像	回復・慢性期の患者さんにより良い療養環境を提供するとともに在宅に向けて切れ目のない医療を提供できるよう努力したい。 また、地域の医療機関や介護施設等との連携をより一層深めていきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	入院から在宅まで患者さんの望む一貫した療養生活を提供します。 患者さんの権利と意思を尊重し共に考え、良質かつ適切な医療を提供します。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 日望会 みどり病院
所在地	みどり市笠懸町鹿2646-2
沿革	1999年：医療療養病床 60床にて開院 2006年：医療療養病床 60床から84床に増床 2009年：健康支援室開設（人間ドック・健康診断） 2020年4月1日：医療療養病床34床を介護医療院に転換 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	50 床	床	床	床	50 床	床
	平均在院日数	日	日	日	492.4 日	
	病床稼働率	%	%	%	96.4 %	

※1 在棟患者延べ数（年間） / (（新規入棟患者数（年間）+退棟患者数（年間）） / 2)

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	50 床	床	床	床	50 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	2020年4月より介護医療院34床を開院し、ご自宅や介護施設では対応できない状態の高齢者が安心して長期間の療養が出来る医療・介護サービスを提供します。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	6 科 (内科、内分泌・代謝内科、皮膚科、糖尿病内科、胃腸科、リハビリテーション科)
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		通所リハビリテーション、人間ドック等健康診断			



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		通所リハビリテーション、人間ドック等健康診断			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生病院	恵愛堂病院	東邦病院
主な紹介先医療機関	桐生厚生病院	恵愛堂病院	東邦病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 長期療養	当院は、疾患と身体状況により医療療養病床、もしくは介護医療院にて長期間の療養が可能です。（国が定める要件等があります）
特徴的な 健康支援	<ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーションは、専門のリハビリテーションスタッフを配置して積極的なリハビリテーションを提供します。 ・各健康保険組合との契約により、様々な企業の間ドックや健康診断を実施しています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間の療養ができる病床を有しています。 ・在宅で生活されているご高齢の方へ、リハビリテーションを中心とした通所リハビリテーションを実施しています。 ・企業向けの健康管理の一環として人間ドック等健康診断やインフルエンザワクチン予防接種を実施しています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・更に地域の医療機関や診療所、また、介護施設との連携を深め、在宅当での療養生活が難しい方が長期療養ができる病床を提供します。 ・通所リハビリテーションは、従来のサービスにこだわらず、利用される方のニーズに合わせたサービスの提供を目指します。 ・人間ドック・健康診断は、各種検査項目を増やし、特に女性が利用しやすい施設を検討しています。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>みどり病院は「心のかよった患者さん本位の病院」の理念のもとに、地域に開かれた親しみやすい病院を目指しています。</p> <p>当院は、医療と介護の両面から、安心して療養して頂ける入院・入所サービスの提供と、地域の皆様の健康管理のお手伝いをさせていただきます。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人岩下会 岩下病院
所在地	群馬県桐生市本町4丁目320番地
沿革	昭和21年 同所にて岩下医院 開設 昭和44年 医療法人岩下会 岩下病院 開設 52床 平成12年 岩下病院デイサービスひまわり 開設 平成17年 岩下病院グループホームあさがお 開設 平成20年 岩下病院グループホームあじさい 開設 平成23年 岩下病院ケアサポート居宅介護支援エーデルワイス 開設 現在：岩下病院（地域包括ケア病床28床・一般病床20床）

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	48 床	床	床	48 床	床	床
	平均在院日数	日	日	32.0 日	日	
	病床稼働率	%	%	85.0 %	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	48 床	床	床	48 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	将来像も、地域包括ケア病床を活用し、地域の医療構想に沿った医療を展開していく計画。 回復期医療機能を提供し、急性期医療から在宅医療への繋ぎ役として病床を活用していく。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	3 科（ 整形外科 泌尿器科 リハビリテーション科 ）
------	-----------------------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、緩和ケア				



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、緩和ケア				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生総合病院	東邦病院	地域の開業医
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	東邦病院	地域の開業医

5. 当院の特徴について

特徴的な 回復期医療機能	急性期病院からの患者の受け入れ、地域の診療所からの紹介対応など、亜急性期から慢性期まで幅広く医療を提供し、患者様が住み慣れた地域で安心して生活できるように当院の特徴を活かす。
特徴的な シームレスな医療 と介護サービス提供	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者様が退院後も安心安全に生活できるよう、必要に応じ退院前指導から在宅医療及び介護サービスまで、シームレスなケアを展開していく。 介護施設（居宅介護支援、デイサービス、グループホーム、訪問リハビリ、訪問看護）を運営し、地域包括ケアシステムの一助を担う事業展開を行う。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 回復期医療機能を展開しており、急性期病院から在宅医療を担う地域の診療所等との連携を図り、当院の特徴を活かした入院から在宅退院に向けて医療を提供している。 地域のかかりつけ医として、全人的な医療を提供している。 地域包括ケアシステムの当院の役割として、医療サービス及び介護サービスを提供し、地域の皆様に信頼されるサービスを展開していく。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 将来においても、整形外科・泌尿器科等の亜急性期、回復期の入院診療を中心に、地域医療に貢献できるよう、二次救急医療と在宅からの急な入院にも対応できるよう更なる体制の充実を図る。 地域の急性期病院や診療所との連携を深め、当院の特徴を活かしていく。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> 近い将来、旧病棟を建て替え、入院と外来患者様の療養環境の改善に努めます。 入院中や外来受診において、リハビリテーションを更に充実させてサポートしていきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人大和会 大和病院
所在地	群馬県桐生市稲荷町2-9
沿革	昭和47年 医療法人大和会開設 平成10年 複合病棟 一般病床16床 療養病床24床 計40床 平成12年 療養病床24床のうち12床を介護療養型へ転換 一般16床 療養12床 介護12床 平成18年 一般病床16床を医療療養型病床へ転換 医療療養型病床28床 介護療養型病床12床 計40床 平成27年 介護療養型病床12床を医療療養型病床へ転換 医療療養型病床40床 計40床 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	40 床	床	床	床	40 床	床
	平均在院日数	日	日	日	236.7 日	
	病床稼働率	%	%	%	96.7 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設 等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	40 床	床	床	床	40 床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	今後も慢性期医療から療養の橋渡しの機能を継続し、災害時協力病院として柔軟な対応を考えています。また、経営環境の改善によっては、介護医療院40床移行も視野にしています。
---------------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (内科 眼科 リハビリテーション科)
------	--------------------------

現在	<input type="radio"/> がん	<input type="radio"/> 脳卒中	<input type="radio"/> 心血管疾患	<input type="radio"/> 糖尿病	<input type="radio"/> 精神疾患	<input type="radio"/> 在宅医療
	<input type="radio"/> 救急	<input type="radio"/> 災害	<input type="radio"/> へき地	<input type="radio"/> 周産期	<input type="radio"/> 小児	<input type="radio"/> その他
	「その他」の 具体的な機能		眼科手術 (主に白内障) ・リハビリテーション科			



将来 (2025年)	<input type="radio"/> がん	<input type="radio"/> 脳卒中	<input type="radio"/> 心血管疾患	<input type="radio"/> 糖尿病	<input type="radio"/> 精神疾患	<input type="radio"/> 在宅医療
	<input type="radio"/> 救急	<input type="radio"/> 災害	<input type="radio"/> へき地	<input type="radio"/> 周産期	<input type="radio"/> 小児	<input type="radio"/> その他
	「その他」の 具体的な機能		眼科手術 (主に白内障) ・リハビリテーション科			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生総合病院	足利赤十字病院	東邦病院
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	恵愛堂病院	まろ医院

5. 当院の特徴について

特徴的な 柔軟な対応	中小規模病院の利点を活かし、様々な柔軟対応を考慮し、地域医療の受け皿を心掛けている。
特徴的な チームワーク	内科・眼科を軸に専門医同士が密に連携を図り、白内障手術治療を含む高齢者医療を充実させている。また、地域の他院との良好な連携関係が続いている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域のかかりつけ病院、又、急性期からの受け皿として、慢性期患者の治療に対応し、患者様の全身管理、地域住民の健康管理に取り組んでいる。 また、他院からのターミナルケアの患者様も積極的に受け入れている。
当院の未来像	現状の医療機能を維持しつつ、地域の病院・医院・介護施設との連携をより一層深めていく。質の高い医療サービスを提供できるよう、職員一人一人の資質の一層の向上を目指す。 超高齢化社会、人口減少、医師等の人材不足問題など、時代の趨勢を見極め検討していきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	患者様中心の思いやりをもった医療を提供させて頂くよう日々取り組んでいます。他の病院・医院・介護施設と連携し、地域に根差した医療を目指しています。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 社団 明石会 桐生整形外科病院
所在地	群馬県桐生市相生町1丁目253番地の1
沿革	平成9年 19床の有床診療所と開院 平成12年 78床の急性期病院となる 平成15年 38床の急性期病床と40床の療養病床になる 平成22年 38床の急性期病床と40床の老人保健施設になる 令和2年11月 桐生市間ノ島から桐生市相生町へ移転となる

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	38 床	床	38 床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	21.5 日	日	日	日
	病床稼働率(※2)	%	83.5 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	38 床	床	38 床	床	床	床	床

2025年に 向けた 病床活用の 見通し	より一層の急性期医療の充実を図り、現状の急性期病床としての運営を検討している。 急性期医療を終えた患者様に対してもリハビリテーション機能を充実していく予定。
-------------------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	5 科 (整形外科・外科・内科・リハビリテーション科・麻酔科)
------	-----------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	リハビリテーション				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の 具体的な機能	リハビリテーション				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生総合病院	東邦病院	足利日赤病院
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	東邦病院	足利日赤病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 	5科ある診療科の中で整形外科とリハビリテーション科に重点をおいた診療を行っており、近隣にある関連診療所の診察を含めると、すべての整形外科疾患に対応できるよう努めております
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> • 整形外科疾患に特化した診療を行っております。 • MRIやCT、骨密度測定装置、透視機器などを揃えており迅速な診断を心がけております。 • 若年層から高齢者までどの世代にも対応した診療を行っております。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者の整形外科疾患や若年層のスポーツ疾患など、地域の整形外科疾患において、患者様に利便性と信頼性の高い診療を目指し、手術などの積極的な治療からリハビリテーションなどの保存治療まで選択の幅の広い整形外科病院を継続する。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	整形外科疾患で悩まれる地域の患者様にとって信頼できる病院作りを行っていきたいと思っております。手術や入院治療など一層の急性期医療の充実を図る事による急性期病床の強化や、退院後の通院リハビリテーション治療など患者様の社会復帰に寄り添った診療を心がけております。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人山育会 たかのす診療所
所在地	群馬県桐生市川内町2丁目289-1
沿革	昭和48年4月1日 桐生市川内町2丁目284-1（現在地の隣地）に山口昌利（前院長）が開所する。 平成2年11月 医療法人山育会設立。 平成7年1月 山口典利医療法人山育会理事長に就任。 平成7年4月 桐生市川内町2丁目289-1（現在地）に診療所を新築し現在に至る。

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	15 床	床	15 床	床	床	床
	平均在院日数	日	6.5 日	日	日	
	病床稼働率	%	43.2 %	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	15 床	床	床	15 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も少子高齢化の流れで、分娩取扱数の減少により病床稼働率の低下が進むものと思われるが、分娩の取扱が主となる病床であることから、一時的な高齢者等の入院は受け入れる可能性はあるものの病床の活用状況に変化はないと思われる。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	5 科（産科、婦人科、小児科、内科、歯科）
------	-----------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療		
	救急	災害	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	婦人科ガン検診、訪問リハビリテーション							



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療		
	救急	災害	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	婦人科ガン検診、訪問リハビリテーション							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	日新病院		
主な紹介先医療機関	日新病院	桐生厚生総合病院	

5. 当院の特徴について

特徴的な 分娩取扱体制	専門医2名、助産師4名体制等により細やかな配慮とチームワークで、安心安全な出産を提供すると共に、妊婦さんの意見を尊重し、安心・納得できる体制を整えております。
特徴的な 在宅療養体制	高齢者への往診、地域の高齢者施設への訪問診療等を実施。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	産科・婦人科を中心に地域に開かれた診療所として活動しております。近年の少子高齢化、分娩数の減少、桐生市内の分娩取扱医療機関の減少等当診療所の役割は増加しております。また、診療所周辺の高齢化も進み高齢者診療（往診を含む）、訪問リハビリテーションの提供、高齢者施設への定期的訪問及び連携強化を行っております。
当院の未来像	当診療所の体制については、現状とさほどの変化はないと思われませんが、高齢化が進み人口減少による患者数の減少は顕著になることと思います。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	出生から終末期までを寄り添える医療機関として、地域に根ざした運営を目指しております。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人宏愛会 篠原クリニック
所在地	群馬県桐生市相生町3丁目174-22
沿革	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年6月1日 篠原クリニックを19床にて開院 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	床	床	19 床	床
	平均在院日数	日	日	日	28.9 日	
	病床稼働率	%	%	%	69.5 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19 床	床	床	床	19 床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムに対応可能な病床の整備 介護施設が受け入れの難しい患者様の対応
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (内科、外科、整形外科)
------	--------------------

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能										



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能										

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	宏愛会第一病院		
主な紹介先医療機関	宏愛会第一病院	桐生厚生総合病院	

5. 当院の特徴について

特徴的な 在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> 現在、複数施設への訪問診療を行い、急変時に速やかな対応ができるようになっている。（自院、連携医療機関に入院など）
特徴的な 入院医療	<ul style="list-style-type: none"> 急性期の患者様のみならず、在宅、施設に戻るのが難しい患者様の受入れ、長期療養ができる

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 病床のある在宅療養支援診療所として、主に介護施設に入所している患者様を中心に幅広い在宅医療を提供している。また、急変時等にも迅速な対応ができるよう、連携医療機関と定期的に情報交換等を行っている
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設中心の訪問診療を、在宅の患者様にも対応できるよう医療体制を整備する。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりによる地域社会への貢献 医療は時代とともに変化を続けていますが、どんな時代にあっても私たちは最良の医療と、心休まる暖かい看護・介護を実現すべく、常に患者様とより良い関係を築きながら地域社会に貢献してまいりました。 これからも信頼を第一に、真心のこもった診療をモットーとして歩いていきたいと思えます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	青木眼科
所在地	群馬県みどり市大間々町大間々29-1
沿革	平成13年（2001年）7月に一般病床6床にて開院。 周辺の病院が白内障手術が8か月待ちの中、早期視力回復のため、手術を1か月以内に完了し、白内障手術を施行することを主眼に、診療を続けてきました。

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	6床	床	床	床	床	6床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



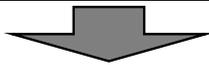
将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	床	床	床	床	床	6床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	白内障手術治療や手術器機が進歩したため、日帰り手術で済むようになりました。医学的に、入院が必要な患者さんが生じた場合は、病床を活用予定です。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	1科（眼科）
------	--------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	白内障手術				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	白内障手術				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生総合病院	東邦病院	
主な紹介先医療機関	群馬大学医学部附属病院	桐生厚生総合病院	東邦病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 白内障治療	白内障による視覚障害で困っている患者さんにより早く手術治療を提供して、視力回復を図ります。高齢者の日常生活の危険回避・転倒防止、自動車運転免許保持に全力を傾けています。 このため、医療資源を最新の白内障治療装置に重点的に投資しています。手術翌日から、経過良好でしたら、日常生活の制限は全廃。 重いものを持っていただいても、洗顔、洗髪、入浴や適度の運動も可能です。眼帯装用も不要です。
特徴的な 地域医療	入念な診察のもとに、より適切な医療機関へ患者さんを紹介しています。 眼底出血や緑内障は周辺の総合病院。 網膜剥離、加齢性黄斑変性や重度の外傷は群馬大学医学部附属病院。 眼形成や鼻涙管疾患は、新前橋かしま眼科形成外科。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	周辺の総合病院は、劇的な新薬開発のおかげで、眼底出血や加齢性黄斑変性に対する抗血管新生薬の硝子体内注射の患者さんが激増して、白内障手術にまで手が回らず、白内障手術はまだ半年待ちです。 患者さんの負担軽減のために、簡潔明瞭な診療とより適した医療機関を紹介しています。または、視覚障害の認定申請。不必要・過度の点眼薬の使用を戒め、啓蒙しています。眼鏡矯正についても、俗説を排し、正しい快適な見え方のできる見え方を提案・指導しています。
当院の未来像	患者さんやご家族の時間と経済的な負担を軽減するために、必要最小限の診療回数、点眼薬の打ち切りも提案、指導を推進して行きます。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 岩宿会 岩宿クリニック
所在地	群馬県みどり市笠懸町阿左美1506-3
沿革	2018年 開院 2021年 法人化、現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	15 床	床	15 床	床	床	床
平均在院日数(※1)		日	5.4 日	日	日	日
病床稼働率(※2)		%	67.1 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	15 床	床	15 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	当面は現状維持の予定である。
-------------------	----------------

3. 医療機能について

診療科目	1 科 (産婦人科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	島村京子クリニック	ときざわレディスクリニック	いまいウイメンズクリニック
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	東邦病院	太田記念病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 入院設備	入院設備としては珍しい岩盤浴をシャワー室2室へ設置し、出産後の褥婦さんへのリフレッシュに貢献している。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	分娩取り扱い施設として、24時間365日、分娩対応（帝王切開を含む）をしている。
当院の未来像	全国的に分娩総数は減少傾向にあるため、無痛分娩や合併症妊娠、婦人科手術等、当院で対応できる症例の幅を広げていけるよう麻酔科医師の確保や近隣施設との連携深め、患者様にとって利便性の高いクリニックになるように目指す。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	現状ではみどり市唯一の分娩取り扱い施設であり、産婦人科でもあります。曜日限定ですが、女性医師も在籍しております。産科だけでなく、生理痛や更年期症状等の婦人科にも対応しております。是非、気兼ねなくご相談下さい。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	両毛整肢療護園
所在地	桐生市広沢町1丁目2648-1
沿革	昭和31年9月：開園・病院開設 昭和32年6月：一般病床（慢性期）60床及び訓練棟増築 昭和36年3月：一般病床（慢性期）15床増床し、計75床 昭和39年3月：一般病床（慢性期）25床増床し、計100床 昭和59年3月：本館新築及び一般病床（慢性期）40床減床し、計60床 平成23年3月：病棟改築（一般病床（慢性期）60床） 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数（一般・療養）)

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	60 床	床	床	床	60 床	床
	平均在院日数(※1)	日	日	日	1797.1 日	
	病床稼働率(※2)	%	%	%	82.0 %	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	60 床	床	床	床	60 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も障害児・者の入院施設として、医療と介護を提供していく。 障害児・者に特化した専門的医療とリハビリテーションを実施。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	5 科（小児科、小児神経科、整形外科、内科、リハビリテーション科）
------	-----------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	桐生厚生総合病院	群馬県立小児医療センター	
主な紹介先医療機関	桐生厚生総合病院	群馬県立小児医療センター	

5. 当院の特徴について

特徴的な	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を理解した専門の医師、訓練士により個別対応の適切なリハビリテーションを実施しています。 ・患者様の状況を把握し、個々の状態に応じた看護、介護を実施しています。
特徴的な	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児は隣接のあさひ特別支援学校との密接な連携のもと、個々の状態に応じたリハビリテーションの実施と教育により、独立自活に必要な支援を行っています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・当園は、医療型障害児入所施設と療養介護を併設して運営を行っている。 ・医療型障害児入所施設は、子供の運動機能の回復、向上を目指すと共に、発達障害の子供達の自立と社会参加に向けた専門スタッフによるリハビリテーションを実施している。 ・療養介護は、運動機能の維持、向上及び一人ひとりの意思とニーズを尊重し、充実した日常生活が送れるよう支援を行っている。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児・者が地域で暮らすための医療、福祉、教育の支援機関として医療の質とスタッフの質を高めていきます。 ・運動機能向上の可能性と能力を見極め、リハビリテーションに取り組んでいきます。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・当園は昭和31年9月開園以来、一貫して障害児・者の医療と福祉に携わってきました。 ・地域社会のニーズに応じた医療、福祉の充実に努め、障害児・者と共に生きていく共生社会を目指し、日々研鑽をしております。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	社会福祉法人 希望の家 療育センター きぼう
所在地	群馬県みどり市大間々町大間々22-4
沿革	昭和50年：希望の母子通園施設開設 昭和51年：社会福祉法人希望の家認可 昭和53年：入院施設希望の家療育病院竣工（定員50名） 昭和54年：希望の家療育病院定員変更（50名⇒64名） 昭和55年：希望の家療育病院二階棟増築工事竣工（定員100名） 昭和57年：希望の家療育病院通院治療棟増築工事竣工 平成元年：地域交流ホーム工事竣工 平成3年：希望の家療育病院南棟増築工事竣工 平成5年：通園モデル事業B型承認 平成8年：訪問看護事業承認 平成9年：在宅重症心身障害児(者) 通園事業A型承認 障害児(者) 地域療育等支援事業承認 平成11年：希望の家療育病院西棟増築工事竣工 平成12年：希望の家療育病院定員変更（100名⇒120名） 平成15年：希望の家療育病院定員変更（120名⇒入所120名・ショート5名） 平成16年：桐生地域リハビリテーション広域支援センター受託 平成17年：希望の家療育病院東棟増改築工事竣工 平成18年：希望の家療育病院外来棟増改築工事竣工 平成19年：指定相談支援事業承認 平成20年：北関東アレルギー研究所開設 平成23年：希望の家療育病院矢野記念ホール・厨房・西病棟増改築工事竣工 平成23年：希望の家療育病院定員変更（120名⇒132名・ショート5名⇒8名） 平成24年：希望の家療育病院外来棟増改築工事竣工 平成30年：希望の家療育病院名称変更(療育センター きぼう)

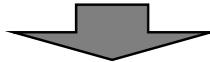
2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	140 床	床	床	床	床	140 床
平均在院日数		日	日	日	31.0 日	
病床稼働率		%	%	%	100.0 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / (新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。

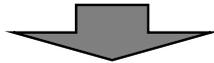


将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	140 床	床	床	床	床	140 床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	第8次群馬県保健医療計画によれば常時医学的管理下に置かなければならない在宅の重症心身障害児(者)数は、増加しており、セーフティネットとしての機能を果たすためにも増床の必要がある。
---------------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	9 科 (小児科・内科・整形外科・外科・神経内科・精神科・リハビリテーション科・アレルギー科・歯科)							
現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		発達障害、障害児（者）のリハビリテーション					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		発達障害、障害児（者）のリハビリテーション					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部付属病院	桐生厚生総合病院	恵愛堂病院
主な紹介先医療機関	東邦病院	群馬県立小児医療センター	

5. 当院の特徴について

特徴的な 入院	重症心身障害児（者）の長期入院の受け入れ。
特徴的な 外来診療	発達障害等を持った方のリハビリテーション、一般の歯科に受診できない多動等の患者様の歯科受診の受け入れ。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	重症心身障害児（者）の方が長期入院生活を過ごすうえで、専門医師・スタッフが明るく楽しい生活を送り、患者様の機能維持・向上、季節に合ったレクリエーションなどを行っている。その他外来、発達・相談支援センター・重症心身障害児（者）デイサービス、等様々なかたちで障害を持った患者様の対応をしている。
当院の未来像	さらに多くの障害等を持った患者様のニーズにこたえること。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	これからも地域の方や障害を持った患者様に医療や様々なサービスを提供していきたい。